

|                               |  |       |       |               |          |    |
|-------------------------------|--|-------|-------|---------------|----------|----|
| 授 業 科 目 名                     | 乳児保育   | 教 員 名 | 畦浦 敏彦 | 免許・資格<br>との関係 | 小学校教諭    |    |
|                               |  |       |       |               | 幼稚園教諭    |    |
| 授 業 形 態                       | 演習   | 担当形態  | 単独    | 卒業要件          | 保育士      | 必修 |
| 科 目 番 号                       | F0I101   | 配当年次  | 1年後期  |               | こども音楽療育士 |    |
| 単 位 数                         | 2単位  |       |       | 小幼コース         | 選択       |    |
| 科 目                           |  |       |       |               |          |    |
| 施 行 規 則 に<br>定める科目区分<br>又は事項等 |  |       |       |               |          |    |
| 科 目                           | 告示別表第1による教科目   |       |       |               |          |    |
| 系 列                           | 保育の内容・方法の理解  |       |       |               |          |    |
| 一 般 目 標                       | (1) 保育所保育方針に示された、乳児保育に関する専門的な知識や技能を学ぶ。<br>(2) 乳児の発達や遊びの過程を理解し、具体的な保育場面を想定し保育を構想する方法を身につける。   |       |       |               |          |    |
| 到 達 目 標                       | (1)-1) 保育所保育指針等における保育所等の基本、各領域のねらい及び内容を理解する。<br>2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、乳児が体験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。<br>(2)-1) 乳児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。<br>2) 指導案等の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案等を作成することができる。   |       |       |               |          |    |
| 授 業 の 概 要                     | 乳児保育の理念と歴史の変遷について学ぶ。また、認定こども園の役割について理解し、保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題についても理解する。特に、健やかな成長を支える3歳未満児の生活と遊びについて理解する。乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場としての保育所等の就学前園児の活動の実態に触れる。授業形態は、演習とする。アクティブラーニングとして、振り返りやレポートを取り入れる。   |       |       |               |          |    |
| ディプロマ・ポリシーとの関係                | 本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」を育成する科目として配置している。   |       |       |               |          |    |
| 授 業 計 画                       | <p>第1回：子ども観の転換や幼稚園の起源と発展、保育施設の歴史等、乳児保育の歴史の変換等を学ぶ。(目標(1)-1))</p> <p>第2回：保育所保育指針に沿った保育園の一日について理解し、入所する子どもにとって最もふさわしい生活の場である保育を展開するための援助と環境について考える。(目標(1)-1))</p> <p>第3回：乳児の全身運動の発達・概要について学ぶ。全身運動の発達に関わる子どもの生活と保育者の役割や援助について学ぶ。(目標(1)-2))</p> <p>第4回：乳児の手指の機能・事物の操作の発達と保育において配慮することを理解すると共に話し合いながら理解を深める。(目標(1)-2))</p> <p>第5回：乳児の食事の意義について学ぶ。食事行動の発達と食事をめぐるトラブルの原因と対策について学ぶ。(目標(2)-1))</p> <p>第6回：おむつが汚れているときの乳児の表情や身体の動きとおむつ交換時の表情を比較するなど排泄行動の整理と発達を理解し、排泄の世話と自立への援助について学ぶ。(目標(2)-1))</p> <p>第7回：保育所や家庭における乳児の睡眠時間を調査し、乳児の睡眠と保育所における午睡について理解し、保育上の配慮することを学ぶ。(目標(2)-1))</p> <p>第8回：言葉の発達の概要、言葉の発達の条件、言葉を伝え合う場面において配慮することなどについて学ぶ。(目標(1)-2))</p> <p>第9回：保育所の生活や行事等で乳児期に多い事故の発生要因とその対策、危機管理についてグループ研究する。(目標(2)-1))</p> <p>第10回：3歳前半までの対人関係の発達の特徴を理解し、保育について配慮することを学ぶ。また、母子関係についても学ぶ。(目標(1)-2))</p> |       |       |               |          |    |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>第11回：玩具製作にあたり、対象児の心身の発達の様子や関心等を調べ、目的にあった安全な玩具創作について考え、具体的な計画を作成する。(目標(2)-2))</p> <p>第12回：生活リズムと保育所の日課や記録・保育日誌・家庭との連絡について理解する。また、家庭との連携を考慮した保育課程と指導計画の作成について理解する。(目標(2)-2))</p> <p>第13回：家族・家庭の役割と状況について理解し、乳児保育の意義について考える。どんな環境が必要かグループ研究をする。(目標(1)-1))</p> <p>第14回：地域の変貌・児童虐待問題・少子化と子育て支援について理解する。どのような保育制度が必要かグループ研究する。(目標(1)-1))</p> <p>第15回：これまでの学習をもとに自分の保育者像を発表し、相互に学び合い、多様な保育者の在り方を学ぶ。(目標(1)-1), (2)-1))</p> <p>定期試験</p> |
| 学生に対する評価    | <p>定期試験70%、レポート提出30%をもとに総合的に評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>  |
| 授業外学習について   | <p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：毎回、演習の内容について事前にテキスト等のページ等を示すので、入念に予習し、不明な点等を明確にしておくこと。</p> <p>事後学習：演習内容について、毎回自分なりに復習(加筆、整理)し、次回演習までに完全に理解しておくこと。</p>  |
| テキスト        | <p>『保育所保育指針』『保育所保育指針解説書』</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書』</p> <p>『乳児の生活と保育』 松本園子 編著 ななみ書房</p>   |
| 参考書・参考資料等   | <p>『演習 乳児保育の基本』 阿部和子 編 萌文書林</p> <p>『保健所における食育に関する指針』『乳児院運営指針』『授乳・離乳の支援ガイド』</p>  |
| 担当者からのメッセージ | <p>絵本の読み聞かせ、手遊び歌等を自学すること。</p>   |
| オフィスアワー     | <p>授業の前後の時間(メール等でアポイントを取ること。)</p>   |